

県立八戸第二養護学校のスクール・ミッション及びスクール・ポリシー

スクール・ミッション（各校の求められる役割、目指す学校像）

- 一人一人の障がいの状態等に応じて、その時に最も必要な教育を行うとともに、学んだことを生かしながら、自立と社会参加に向けて、主体的に学び続ける幼児児童生徒を育てます。
- 家庭や地域、関係機関と連携し、協力して幼児児童生徒を育てるとともに、障がいのある者と障がいのない者が支え合い、認め合える社会の実現に向けた取組を推進します。
- 幼児教育施設、小・中学校、高等学校等とつながり、必要な支援に努めながら、地域の特別支援教育の推進に貢献します。

スクール・ポリシー（一貫性を持って教育活動を進めるための具体的な3つの方針）

【グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）】

健康な体と豊かな心を育み、将来の自立と社会参加を目指し、児童生徒一人一人が、心豊かにたくましく生きるための資質・能力の育成を目指します。

- 進んで体を動かしいろいろな動きのできる児童生徒
- めあてや見通しをもって進んで活動し、何事にも最後までがんばる児童生徒
- 身の回りのことが自分ででき、友達となかよく活動する児童生徒
- 身近な社会に関心をもち進んで参加する児童生徒
- 感じたり思ったりしたことを自分なりに表現する児童生徒

【カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）】

- 小学部から中学部まで9年間の継続する教育の考えに立って、一貫性をもたせた指導を行います。
- 一人一人の障害の状態等を把握し、児童生徒や保護者の教育的ニーズを踏まえた個別の教育支援計画を作成し、家庭、医療、福祉、地域などの関係機関と連携して、組織的、継続的な支援を行います。
- 一人一人の障害の状態等に応じたきめ細やかな指導を行うため、指導目標や指導内容・方法を段階的、かつ具体的に表した個別の指導計画を作成し、それに基づいた指導を進めます。
- 自分を大切にできる強さと他者を尊重するしなやかさをもち、周囲の人と協力しながら進んでよりよい生活を作ろうとすることができるよう、教育活動全体で行う道徳教育を重視するとともに、道徳科の時間を設けるなど道徳の位置付けを明確にして「特別の教科 道徳」を指導し、道徳的心情、道徳的判断力、道徳的实践意欲と態度の向上を図ります。
- 自分らしい生き方を実現していくために、一人一人にあった役割や経験を設定し、キャリア教育を通して、主体的に進路を選択・決定する力や自立と社会参加に必要な力を培えるように指導を行います。